



こもり りゅういち
小森 隆一 議員
(公明党議員会)



大規模災害対応について

Q トイレ環境の整備は命を守る取り組みに通じるため、トイレトレーラーの整備について伺いたい。

A 市長

大規模災害が発生した際はトイレが使用できなくなることが想定され、トイレトレーラーは非常に有効であると認識していることから、令和6年3月に佐野インランドポートの指定管理者と「佐野インランドポートを活用した支援物資の受入れ及びコンテナ型トイレ等の提供に関する協定」を締結し、有事の際はコンテナ型トイレの提供をいただくことになっています。

また、トイレトレーラー等の活用が見込まれる市有施設等への設置については、本市が進める「国際防災拠点さの」の整備方針を基に検討を進めていきます。

その他の質問

- ☆認知症の人に寄り添った共生社会実現の推進について
- ☆学校防火設備の安全対策について



はやかわ たかみつ
早川 貴光 議員



人口減少社会における対策について

Q 令和5年の合計特殊出生率の目標が1.64で、2045年までに2.07まで上昇させるといふ話だが、令和4年の合計特殊出生率の1.14と乖離が大分ある。年度末までに第3期の総合戦略の策定と人口ビジョンの改定を行っていく中で、この目標設定を現実的なものにしていくのか、それとも目標達成のためにより施策を展開していくのか伺いたい。

A 市長

出会いというものがある、結婚があつて、そして出産があつて、子育てという一連の流れの中で、やはり切れ目のない対応をしていくことが必要であり、佐野市がどちらかという数字によって物を決めていくのが実際には、今後そのような形を議員からのご提案もありましたので、進めさせていただければと思っております。

その他の質問

- ☆交通指導員について



はるやま としあき
春山 敏明 議員
(新風)



都市計画道路「伊勢山赤坂線」の鉄道立体交差と秋山川架橋建設等について

Q 都市計画道路「伊勢山赤坂線」が東武鉄道佐野線と交差する佐野市駅より館林方面へ約200メートル地点での鉄道交差問題はどのように調査研究が進められたのか。

A 市長

当該交差部については、立体交差、いわゆる高架により都市計画決定がされています。この立体交差部については、市道1級3号線の歩道整備の検討と合わせて、都市計画に基づく整備が実現可能かどうか、昨年度に検討をした結果、南北の市道との交差点が鋭角になってしまうことや、道路の横断勾配が急になってしまふことなど、道路法に基づく道路構造令の規定に合致しないことが明らかになりました。したがって、都市計画道路としては、抜本的な見直しが必要であると考えているところです。

その他の質問

- ☆令和元年東日本台風(台風第19号)被災より激甚化対策治水工事後の秋山川「水辺の楽校」緑地復旧復興について